

1 スポーツを「する」環境づくり

スポーツを「する」環境には「場所」、「仲間」、「機会」が必要です。「場所」については、施設の整備・充実はもちろん、施設利用者の利便性の向上が図ることができるよう取り組みます。「仲間」については、個人と団体、団体と団体がつながることができる仕組の構築を目指します。「機会」については、これまで実施しているイベント等を継続して、スポーツに親しむ機会を提供するほか、前計画のアクションプランでも力を入れたウォーキングについて、取組を継続しながら、歩くことへの意識を高めるなど、生活の中にスポーツがあることへの理解を広げます。

施設の整備・充実については「アセット計画」に基づいて整備・改修等を進めるとともに、アセット計画の対象とならない小規模施設等については「スポーツ施設の適正配置方針（平成26年度（2014年度）～令和5年度（2023年度））」を新たに策定し、今後の方針について見直しを進めます。

成果指標

指標：成人の週1回以上のスポーツ実施率

目指す方向	令和元年度（コロナ前） （基準値）	令和3年度（実績値）	令和9年度（目標値）
↗	44.6%	46.2%	65.0%

指標：40歳以上の肥満者（BMI25以上）の割合

目指す方向	区分	令和元年度（コロナ前） （基準値）	令和3年度（実績値）	令和9年度（目標値）
↘	男性	35.6%	37.1%	28.0%未満
	女性	25.2%	24.9%	19.0%未満

管理指標

指標	目指す方向	令和元年度（コロナ前） （基準値）	令和3年度（実績値）	令和9年度（目標値）
市スポーツ施設の利用者数	↗	1,087,714人	724,752人	1,200,000人
学校開放事業利用者数	↗	611,648人	448,237人	700,000人
モリウォーカーのダウンロード数	↗	—	※1,647件	20,000件

※モリウォーカーは令和4年9月リリースのため、実績値は令和4年12月時点の値です。

(1) 身近で気軽に楽しむスポーツ活動・健康づくりの推進

これまで実施してきた各種大会や講座・教室などの機会の提供の充実はもちろん、自発的にスポーツをするための場所の確保における利便性の向上、スポーツを通じて交流が生まれるきっかけとなる場の提供など、市民の誰もが身近で気軽にスポーツに親しみ、楽しみながら、健康で生き生きとした暮らしを持続できるよう、日常の中で健康づくりのために行う「身体活動」も含むスポーツ活動を推進します。

① 「する」場所の確保

ア 施設利用者の利便性の向上

スポーツ施設の利用に当たっては、施設の空き状況が分かり、予約も同時にできることで、利用者の利便性が向上するとともに、施設の効率的な稼働にもつながります。また、いつも利用している施設が、催事やメンテナンス等で利用できない場合の代替施設の検索、予約ができるシステムの検討を行い、利便性の向上を目指します。

[具体的な内容]

- a 施設予約システムの検討と構築

イ 学校体育施設開放事業の推進

地域にある小・中学校の体育施設（校庭・体育館）を開放し、気軽にスポーツに取り組むことができるよう取り組みます。また、各学校に設置している学校体育施設開放運営委員会が行っている利用団体の登録申請や施設利用の受付について、利便性の向上を図るためデジタル化等を検討するほか、夜間照明施設の計画的な更新・修繕を行い、利用者が安全に使用できる施設を目指します。

[具体的な内容]

- a 施設利用手続きのデジタル化の検討【新規】
- b 学校体育施設開放運営委員会への支援と同委員会のあり方の検討
- c 夜間照明施設の維持管理

② 「する」仲間の出会いの創出

ア スポーツとつながる仕組みの構築

スポーツをしたい人と団体、試合等をしたい団体と団体、指導者やメンバーを探している団体と個人がつながる場の創出を目指します。

[具体的な内容]

- a スポーツ団体データベースの検討と構築【新規】
- b 人材データベースの検討と構築【新規】
- c 学びの循環推進事業との連携

イ スポーツについて相談できる場の設置

これからは、少子化・高齢化が進むことが見込まれる一方で、eスポーツなどの新たなスポーツが誕生していることから、団体の結成や団体同士のつながりなどを支援する環境を作ります。

[具体的な内容]

- a スポーツ相談窓口の検討と設置【新規】

③ 「する」機会の創出

ア スポーツに親しむ機会の提供

色々なスポーツに触れることが、スポーツを始めるきっかけになるものと考え、市民の皆さんが気軽にスポーツを楽しむことができる機会の創出に努めます。

[具体的な内容]

- a 盛岡市民スポーツ大会の開催
- b 盛岡・北上川ゴムボート川下り大会の開催
- c 啄木の里ふれあいマラソンの開催
- d いわて盛岡シティマラソンの開催【新規】
- e 市スポーツ・レクリエーション大会の開催
- f 市民総参加スポーツの集いの開催
- g 市障がい者スポーツ大会の開催
- h 地区老人スポーツ大会への支援及び助成
- i スポーツイベントの市ホームページへの掲載
- j 子供会等各種団体のスポーツ行事企画への支援
- k 子ども対象の運動の楽しさ体験機会提供【アクションプラン】

イ 次世代体力・運動能力向上プロジェクトの実践

子どもたちの体力・運動能力の向上を目指し、体の動きづくりに効果的なトレーニングの実施、複数の種目を体験するスポーツ教室、指導者や保護者がスポーツ活動で活用できる知識の習得する機会の提供に取り組みます。

[具体的な内容]

- a もりおかこどもスポーツクラブの開催
- b 小学生の動きづくり事業（S A Qトレーニングウォーミングアップ・パッケージメニュー）の実施・検証【アクションプラン】
- c スポーツ医・科学勉強会の開催

ウ スポーツによる健康増進

心身の健康を維持・増進するためにはスポーツは有効な手段であることから、庁内関係部署等と連携し、日常生活の中で、健康づくりのために気軽に、自分のペースで取り組むことができるスポーツ活動を推進します。

[具体的な内容]

- a 市民体力テストの実施
- b もりおか健康ウォークの実施
- c モリウォーカーを活用したウォーキングの拡大【アクションプラン】
- d ウォーキングマップの周知拡大
- e いわて健康ウォークの共催【新規】
- f 健康づくり教室の開催【アクションプラン】
- g 介護予防教室の開催【アクションプラン】
- h 夜間や休日のスポーツ教室の開催【アクションプラン】
- i 健康づくりの取組への表彰制度の創設【アクションプラン】
- j さまざまな媒体を活用した健康づくり情報の発信【アクションプラン】
- k フレイル*・オーラルフレイル*対策の実施【新規】

エ 運動部活動の地域移行に係る受け皿づくり

中学校の部活動について、国は、令和5年度（2023年度）から土・日曜の部活動を学校ではなく、地域での実施に取り組む方針を打ち出しています。また、将来的には、平日の部活動についても地域に移行する予定とされています。これに対応するため、教育委員会や市スポーツ協会をはじめとする各種団体と協力して、中学生が将来にわたり、スポーツに継続して親しむことができる機会を提供できるよう取り組みます。

[具体的な内容]

- a プロジェクトチームの設立と制度設計、モデル地域での試行【新規】

令和3年(2021年)に策定したアクションプランにおいて、重点事業として「ウォーキングを核とした健康づくり施策の推進」を掲げ、健康づくり推進アプリによる運動習慣の定着・推進を目指しました。そこで生まれたのが「モリウォーカー」です。

歩数が計測できるほか、血圧や体重、健診(検診)受診の記録ができ、いずれも健康ポイントが貯まります。そのほか、指定のウォーキングコースを回る「リアルウォーキング」、普通に歩くだけで、盛岡・北上川ゴムボート川下り大会や啄木の里ふれあいマラソン、いわて盛岡シティマラソンの距離感を味わえる「バーチャルウォーキング」でウォーキングをさらに楽しめます。ぜひ、御利用ください。

The graphic features the MORI-WALKER logo at the top, with the text '健康には、価値がある。' (Health has value) written vertically on the right. Below the logo, it says 'MORI-WALKER (モリウォーカー)は 日々の健康記録やウォーキングで健康ポイントが貯まり、抽選でMORIO Payポイントがもらえるお得なアプリです。' (MORI-WALKER (Mori Walker) is an app where you can earn health points from daily health records and walking, and win MORIO Pay points through a lottery, making it a great app to use). A central image shows a smartphone displaying the app's interface with statistics like '8,213' steps and '1,000' points. A yellow circle on the right says '2022年9月9日リリース' (Released September 9, 2022). At the bottom, there is an illustration of a man and a woman walking.

* 用語解説 P53 参照

(2) スポーツ施設の整備・充実

施設の整備や改修等は、アセット計画に基づいて実施します。また、計画的な設備の更新・修繕等を進めます。

① 計画的なスポーツ施設の整備

ア スポーツ施設の適正配置方針の見直し

施設については「アセット計画」に沿った整備（長寿命化工事）を行っています。アセット計画の対象となっていない小規模施設等については「スポーツ施設の適正配置方針（平成29年度（2017年度）～令和5年度（2023年度）」（以下「適正配置方針」という。）において方針を定めており、令和5年度は現・適正配置方針の最終年度となることから、利用者の意見を反映させながら、令和6年度（2024年度）からの適正配置方針を策定する必要があります。

[具体的な内容]

- a 次期適正配置方針の策定
- b 施設利用者アンケートの実施

イ スポーツ振興基金の拡充

施設整備等には多額の費用を要することから、財源の確保が大きな課題です。国等の補助等はもちろん自主財源の拡充が必要であることから、基金の拡充に取り組みます。

[具体的な内容]

- a 既存施設のネーミングライツの検討【新規】
- b ふるさと納税等の活用【新規】

② 施設の整備改修等

ア 盛岡市・都南村合併建設計画に基づいた整備

[具体的な内容]

- a 都南東部体育館（仮称）の整備【新規】

イ 盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づいた整備

[具体的な内容]

- a 都南・飯岡体育館の整備方針の策定と整備【新規】

ウ 盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づいた長寿命化工事

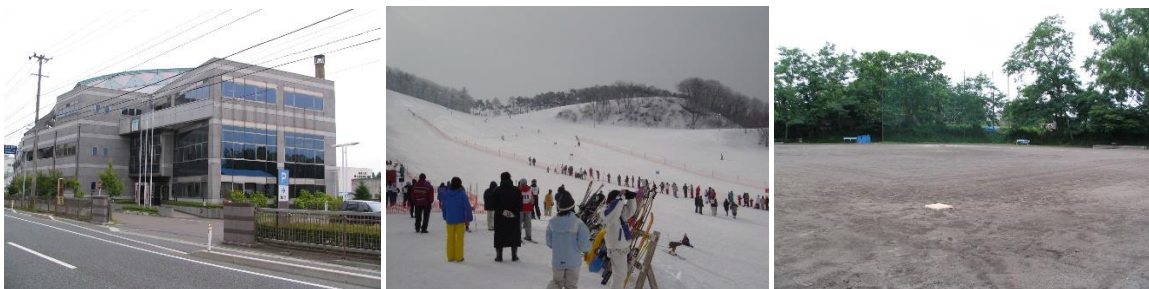
[具体的な内容]

- a 盛岡体育館の大規模な修繕の実施【新規】
- b 生出スキー場大規模改修の実施【新規】

エ その他の取組

[具体的な内容]

- a 河川区域にある野球場適正配置方針の検討
- b 既存施設のバリアフリー化の推進
- c スポーツ施設の Wi-Fi 環境整備の検討 **【新規】**



【上段】都南東部体育館（仮称）の完成予想図（イメージ）、【下段左】盛岡体育館（H8（1996）設置）、【下段中】生出スキー場（S56（1981）設置）、【下段右】太田橋野球場（H8（1996）設置）

2 スポーツを「支える」環境づくり

本市は、これまでもスポーツ団体等と連携して各種事業を展開し、市民のスポーツ活動を推進してきました。今後も市スポーツ協会、各競技団体、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ団体等との連携を強化し、市民のスポーツ活動がより活発に展開されるようスポーツ団体等の役割を明確にして、スポーツをする受け皿として、また、スポーツの指導者として「支える」環境づくりを進めます。

また、市は、地元のプロスポーツチームがあり、身近でプロの試合を観戦できる環境にあることに喜びを感じることができるよう、今後もコーディネートする役割を担うこととし、プロスポーツチームやプロスポーツチームを支援する市民と連携するほか、希望郷いわて国体・いわて大会の遺産（レガシー）であるボランティアとの連携を強化し、スポーツを支えるすべての人が互いに達成感を感じることができるよう「支える」環境づくりを進めます。

成果指標

指標：市が共催・後援する事業数

目指す方向	令和元年度（コロナ前） （基準値）	令和3年度（実績値）	令和9年度（目標値）
↗	201 事業	175 事業	270 事業

指標：総合型地域スポーツクラブの実施事業数

目指す方向	令和元年度（コロナ前） （基準値）	令和3年度（実績値）	令和9年度（目標値）
↗	128 事業	91 事業	250 事業

指標：プロスポーツチームのチーム会員数

目指す方向	区分	令和元年度（コロナ前） （基準値）	令和3年度（実績値）	令和9年度（目標値）
↗	グルージャ	112 人	656 人	1,500 人
	ビッグブルズ	769 人	598 人	1,500 人
	合計	881 人	1,254 人	3,000 人

管理指標

指標	目指す方向	令和元年度（コロナ前） （基準値）	令和3年度（実績値）	令和9年度（目標値）
スポーツ推進委員の年間活動延べ人数	↗	815 人	427 人	1,000 人
市スポーツ施設の利用者数【再掲】	↗	1,087,714 人	724,752 人	1,200,000 人
ホームゲーム1試合の平均入場者数	↗	グルージャ 1,368 人	1,394 人	2,500 人
		ビッグブルズ 1,249 人	850 人	2,500 人

(1) スポーツ団体等との連携強化

企画・運営ができるスタッフや指導者などの人材がいる各関係団体と連携を強化し、スポーツをする機会の創出によるスポーツの普及・定着化や競技力の向上を目指します。

① 盛岡市スポーツ協会との連携強化

ア 事業運営に対する支援

市スポーツ協会は、市内のスポーツ団体の統括団体として、競技力向上と市民への生涯にわたるスポーツの普及を活動の柱としており、市民に対するスポーツ機会の提供者として大きな役割を担っていることから、協会の事業運営に対し、必要な支援を行います。

[具体的な内容]

- a 市スポーツ協会運営事業への助成
- b 岩手県民体育大会、国民体育大会選手派遣事業への助成

イ スポーツ大会等の協働推進

本市が主催・共催するスポーツ大会等の開催に当たって、市スポーツ協会の機能を最大限に活用した協働体制の強化を図ります。

また、市内のスポーツ施設等を活用した全国大会等の誘致に向け、市スポーツ協会と連携を図ります。

[具体的な内容]

- a 各世代に対応したスポーツ教室の開催
- b 大会誘致に向けた連携

ウ スポーツ指導者の確保・育成等

市内のスポーツ団体を統括する市スポーツ協会を中心に、スポーツ指導者の量的・質的な需要に応えられるよう、必要な指導者の育成に努めます。

また、医・科学勉強会やスポーツインテグリティ研修会を開催し、エビデンスに基づく指導、スポーツの健全性を高める取組を実施します。

[具体的な内容]

- a スポーツ少年団指導者講習会の実施
- b スポーツ医・科学勉強会の開催【再掲】

エ スポーツインテグリティの普及【新規】

国の第3期スポーツ基本計画において、スポーツインテグリティの確保が求められており、スポーツにおける暴力やハラスメント、ドーピング等の脅威に対して、指導者だけではなく、スポーツに関わる全ての人々がインテグリティに対する理解を深めることができる取組を実施します。

- a スポーツインテグリティ研修会の開催【新規】
- b スポーツにおける暴力・ハラスメント等相談窓口の周知

② 競技団体等との連携強化

ア スポーツ推進事業への共催・後援

競技団体、ニュースポーツ団体、レクリエーション団体等が実施するスポーツ推進事業に対し、共催や後援を行います。

[具体的な内容]

- a 大会等への共催・後援
- b スポーツ少年団員募集の協力

イ スポーツ指導者の資質向上等

スポーツの意義や楽しみは、青少年の心身の健全な発達、健康の保持増進、レクリエーション、競技力の向上による意識の高揚など広範囲にわたり、スポーツ指導者には、これらを実現するための高い人間性と指導力が求められます。

このため、研修会・講習会の開催などにより指導者の資質向上に努めるほか、関係団体との情報交換を進め、積極的なスポーツ指導者の発掘や情報提供を行います。

[具体的な内容]

- a 競技団体が実施する指導者等講習会の開催周知や協力による支援
- b 岩手県が開催する講習会等の開催周知
- c スポーツ指導者リストの作成及びリストを活用した教育現場等におけるスポーツ活動の推進【新規】
- d スポーツインテグリティ研修会の開催【新規・再掲】

③ スポーツ推進委員との連携強化

ア 協議会事業に対する支援

スポーツ推進委員が、全市的かつ組織的に活動できるように、盛岡市スポーツ推進委員協議会に対し、必要な支援を行います。

[具体的な内容]

- a 盛岡市スポーツ推進委員協議会事業への補助
- b 盛岡市スポーツ推進委員協議会の運営、事業実施の支援
- c 盛岡市スポーツ推進委員協議会の委嘱の見直し

イ スポーツ推進委員の資質向上

スポーツ推進委員がその役割を理解し活躍できるように、講習会への参加を促すなど、資質の向上に努めます。

[具体的な内容]

- a 新任委員を中心とした講習会の実施
- b 岩手県や各種団体が実施する各種講習会への参加促進
- c ラジオ体操講習会の実施

ウ 市民への周知拡大

スポーツ推進委員の活動に市民の理解を得るため、スポーツ推進委員の役割や活動状況について、広く市民に周知します。

[具体的な内容]

- a 盛岡市スポーツ推進協議会が主催するスポーツ行事企画への支援
- b 機関誌の発行
- c 市のホームページやSNSでの周知

④ 総合型地域スポーツクラブとの連携強化**ア クラブの設立や事業運営への支援**

地域での多様なスポーツ活動が促進されるよう、地域スポーツ活動に積極的に取り組むクラブの設立及び事業運営への必要な支援を行います。

[具体的な内容]

- a 市のホームページやSNS等を活用した情報の提供
- b もりスポネットとの連携
- c クラブの設立支援
- d 事業運営への支援のあり方の検討

イ スポーツ推進事業への共催・後援

総合型地域スポーツクラブがスポーツ推進事業として実施する教室や講座等に対し、共催・後援を行います。

[具体的な内容]

- a 総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ教室等開催にかかる共催・後援の実施

ウ 市民への周知拡大

より多くの市民がスポーツに親しみ、地域の連帯意識の高揚や世代間交流等による地域の活性化が図られるよう、総合型地域スポーツクラブの活動等について市ホームページやSNS等を活用し周知します。

[具体的な内容]

- a 市のホームページやSNSでの周知

⑤ 障がい者団体との連携強化**ア スポーツ大会等への協力**

盛岡市障がい者スポーツ大会等の開催に当たって、スポーツ推進委員の派遣などに協力するほか、大会誘致に関する情報の収集に努めます。

[具体的な内容]

- a 市障がい者スポーツ大会の開催【再掲】

- b 障がい者スポーツ大会に関する情報収集【新規】

イ 情報提供の促進

障がい者スポーツへのスポーツ関係者の理解と協力が促進されるように、庁内関係部署や（一社）岩手県障がい者スポーツ協会等の障がい者団体と連携し、スポーツ関係者に対し障がい者スポーツに関する情報の提供に努めます。

[具体的な内容]

- a 市ホームページやSNS等による障がい者スポーツの情報発信【アクションプラン】
- b 障がい者スポーツキャラバンの実施【アクションプラン】

⑥ 医療関係団体等との連携強化

ア スポーツ医・科学の取組への協力【新規】

スポーツ医・科学の専門的な知識を持った人材等の積極的な活用を図ります。

[具体的な内容]

- a スポーツ医・科学勉強会等への講師派遣依頼

イ スポーツ医・科学の普及【新規】

健康づくりや競技力の向上に資するスポーツ医・科学の知見を普及するための活動に努めます。

[具体的な内容]

- a 市ホームページ等を活用した情報発信
- b スポーツ医・科学に関する研修会等の企画

⑦ 企業、学校等との連携

ア 研究成果や人材等の活用

スポーツに係る地域の貴重な資源として、企業や学校等との協力関係を築き、スポーツに関する研究成果や人材等の積極的な活用に努めます。

[具体的な内容]

- a スポーツ医・科学勉強会等への講師派遣依頼【再掲】
- b スポーツ教室等の指導者派遣依頼
- c スポーツ大会における運営ボランティア派遣依頼
- d 学びの循環推進事業との連携【新規・再掲】

イ 企業への大会支援の要請

各種スポーツ大会等の開催運営に当たっては、大会実行委員会への参加や特別協賛等による企業からの支援を働きかけます。

[具体的な内容]

- a 盛岡の特色あるスポーツイベント（盛岡・北上川ゴムポート川下り大会、啄木の里ふれあいマラソン大会、いわて盛岡シティマラソン）への企業協賛の拡充
- b 企業に対する大会運営にかかるボランティア派遣依頼や土地等借用（企業CSR活動としての周知方法の検討）【新規】

ウ 盛岡市立高等学校の部活動の推進

岩手県内唯一の市立高校を有する本市の特色を最大限に活用するため、近接のスポーツ施設を活用したスポーツの体験機会の創出を目指します。

[具体的な内容]

- a 市立高校近接のスポーツ施設を活用したスポーツ機会の創出

⑧ ボランティアとの連携強化

ア ボランティアに関する知識の習得 【新規】

持続性あるスポーツイベントの開催には、ボランティアスタッフの存在が不可欠であることから、イベントの主催者、ボランティアスタッフが互いに達成感を感じることができるよう、主催者、ボランティア双方の知識習得のための研修会を開催します。また、ボランティアスタッフからボランティアリーダーとなる人材の育成を行います。

[具体的な内容]

- a ボランティアに関する研修の実施

イ ボランティアとのネットワークの構築 【新規】

ボランティアスタッフが、達成感を感じながらスポーツイベントに参加できるようボランティアスタッフのネットワーク構築を行います。ボランティアスタッフのネットワーク構築のためのスポーツパルを活用するほか、ボランティアスタッフの活躍を周知します。

[具体的な内容]

- a スポーツパル事業を活用したボランティア情報の発信
- b 県とも連携したボランティア登録制度の検討



いわて盛岡シティマラソンでも多くのボランティアの皆さんの支えにより大会が成功しました

（２）プロスポーツ等との連携

本市をホームタウンとするプロスポーツチームや本市ゆかりの選手が、全国や国際舞台で活躍することは、多くの市民に感動を与え、スポーツへの関心を高め、競技力の向上にもつながることから、プロスポーツ等と連携を図り、また、市民がプロスポーツ等を応援する機運の醸成を図ります。

① チーム力強化への支援

ア 練習・試合環境の確保・支援

本市を拠点とするプロスポーツチームの練習場所・ホームゲーム開催地として、スポーツ施設を優先的に利用できるよう支援に努めます。また、より多くの市民の観戦につながるよう日程等の周知に努めます。

[具体的な内容]

- a スポーツ施設の先行利用予約の実施
- b 市のホームページやSNSによる試合日程の周知

② 市民に愛されるチームづくりへの支援

ア 地域活動等への参加促進

本市を拠点とするプロやプロを目指すチームが、多くの市民に愛され、市民チームとして成長するために、地域活動等への参加を促進します。

[具体的な内容]

- a 市が主催するスポーツ事業を始めとする各種行事への参加促進
- b スポーツをはじめとする地域活動等への参加促進
- c プロスポーツチームが行う社会連携活動の周知【新規】

イ 市民による応援への支援

本市を拠点とするプロやプロを目指すチームの試合会場等に多くの市民が足を運び、応援するための仕組みづくりを検討します。

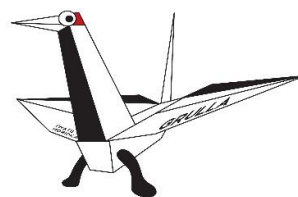
[具体的な内容]

- a 市のホームページやSNSによる試合日程の周知【再掲】
- b 小学生の無料招待等の応援支援策の検討

みんなで応援して、チームを大きく育てよう！！



岩手ビッグブルズ・マスコット
「BULLZO (ぶるぞー)」



いわてグルージャ盛岡・マスコット
「キヅール」

3 スポーツで「広がる」環境づくり

平成28年(2016年)に「希望郷いわて国体・いわて大会」が開催されました。その後、平成30年(2018年)には平昌オリンピック、令和元年(2019年)にはRWC2019、令和3年(2021年)には、新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期となった東京2020、令和4年(2022年)には、2022北京オリ・パラと県内、国内、国外でメガスポーツイベントが開催されました。

これらのイベントを契機に、公認チームキャンプ(合宿)や事前キャンプの受け入れなどを関係機関・団体と行ったことから、これらの経験を「レガシー」として発展させ、盛岡広域の8市町と連携したスポーツツーリズム等に取り組み、盛岡広域圏の魅力の発信と賑わいの創出を目指します。

成果指標

指標：スポーツ合宿・大会の受入数

目指す方向	令和元年度(コロナ前) (基準値)	令和3年度(実績値)	令和9年度(目標値)
↗	102件	24件	110件

指標：スポーツパルの登録者数

目指す方向	令和元年度(コロナ前) (基準値)	令和3年度(実績値)	令和9年度(目標値)
↗	1,952人	2,654人	10,000人

管理指標

指標	目指す方向	令和元年度(コロナ前) (基準値)	令和3年度(実績値)	令和9年度(目標値)
盛岡広域スポーツコミッションホームページ閲覧数	↗	68,214件	44,889件	100,000件
スポーツボランティア参加者数	↗	279人	44人	300人
合宿費補助対象宿泊数	↗	—	※ 144泊	500泊

※合宿費補助事業は令和4年4月開始のため、現状値は令和4年11月時点の値です。

（1）スポーツによる交流人口の拡大

東京 2020 のホストタウン事業における成果を生かし、関係団体と連携・協力して、圏外からの大会や合宿等の誘致を図るほか、盛岡広域圏の魅力を発信し、盛岡広域圏の資源を生かしたスポーツツーリズムを推進し、交流人口の拡大を目指します。

① 大会・合宿の誘致

ア 競技団体等への誘致活動

東京 2020 等を通じて構築したあらゆるネットワークを活用して、競技団体や大学・社会人実業団チーム等に対し積極的な誘致活動を行います。

また、誘致活動に当たっては、岩手県やコミッションと連携しながら、盛岡広域圏全体に効果が波及するように努めます。

[具体的な内容]

- a 盛岡広域スポーツコミッションと連携した全国大会等誘致活動の実施

イ 大会主催者への運営支援

施設使用料の減免など、大会主催者に対する運営支援のあり方を検討します。

[具体的な内容]

- a 誘致する全国大会以上の大会における施設使用料支援策の検討

ウ 合宿補助制度の充実 【新規】

令和 4 年度（2022 年度）に市内のスポーツ施設・宿泊施設を利用したスポーツ合宿に対する補助制度を創設しました。この合宿補助制度の充実を図るとともに、広く周知し、スポーツ合宿の誘致を行います。

[具体的な内容]

- a スポーツ合宿補助制度を活用した誘致活動の実施
- b 活用しやすい制度とするためのスポーツ合宿補助制度の拡充

② スポーツツーリズムの推進

ア 広域資源を活かしたスポーツイベントの実施

自然資源やスポーツ資源、観光資源等、広域資源を生かした新たなスポーツイベントや、既存のスポーツイベントの見直しを図り、スポーツツーリズムの推進を図ります。

[具体的な内容]

- a いわて盛岡ボールパークを中心に、広域スポーツ施設を活用した学生野球の招致【新規】
- b ウィンタースポーツを活用したイベントの提案
- c アウトドアスポーツを活用したイベントの提案
- d サイクルツーリズムを活用したイベントの提案

イ 地域におけるスポーツの活用推進 【新規】

地域に根付いている武道などの伝統的なスポーツをはじめ、まちなかを使ったニュースポーツなどを活用して、地域におけるスポーツの振興を図ります。

[具体的な内容]

- a 武道振興策の検討
- b e スポーツイベントの提案
- c アーバンスポーツイベントの提案
- d 武道ツーリズムを活用した交流推進

(2) 盛岡広域圏でのスポーツの推進及び連携

「希望郷いわて国体・いわて大会」のレガシーの一つであるコミッションと連携し、広域圏内でのスポーツによる交流人口の拡大を目指します。

① 盛岡広域スポーツコミッションとの連携

ア 事務局運営の支援

盛岡広域圏各市町がそれぞれの自立性を尊重しつつ、相互に連携・強調してスポーツツーリズムの取組を通じた地域の魅力の発信と賑わいの創出を図るために設立された、コミッション事務局の運営支援を行うとともに、市の事業との連携により効果の拡大に努めます。

[具体的な内容]

- a 盛岡広域スポーツコミッション事務局運営の支援

イ スポーツ情報の発信

広域圏でスポーツを「する」、スポーツを「支える」きっかけを作るため、コミッションと連携して、スポーツイベント情報やスポーツボランティア情報を、メールマガジンやホームページにより発信します。

[具体的な内容]

- a コミッションホームページやSNS、メールマガジンとの連携

ウ エイト・オリンピックズ・プロジェクトとの連携・協力

本市に縁のあるオリンピック・パラリンピック選手を輩出するため、コミッションが取り組むオリンピック等選手輩出を目指すエイト・オリンピックズ・プロジェクトと連携・協力し、練習環境の整備や機運の醸成を図ります。

[具体的な内容]

- a 有望選手の情報収集や新たな有望選手の発掘
- b 広報や市ホームページ、SNS等での周知、コミッションへの情報提供

② スポーツパル事業の充実

ア 会員募集活動の強化・会員活動機会の拡大

スポーツパル会員を増やすため、協賛企業との連携による会員特典の充実やスポーツイベント主催者との連携による会員の活動機会の拡充を図ります。

また、スポーツ施設利用やボランティア活動により得られるスポーツパルポイント制度の電子化に向けた制度の見直しを行います。

[具体的な内容]

- a 協賛企業と協力した会員特典の開発
- b メールマガジンによるボランティア活動機会の提供
- c スポーツイベント主催者に対するスポーツパルボランティア制度の周知
- d 会員交流会やボランティア講習会の開催

③ 広域圏にあるスポーツ施設の利用の連携

ア 岩手県や盛岡広域スポーツコミッションとの連携

盛岡広域圏におけるスポーツ施設の共有化や適正配置により、広域住民の利便性の向上、スポーツ活動機会の充実及び施設整備への負担の軽減が図られることから、それらに向けたコミッションの取組を推進します。

[具体的な内容]

- a スポーツ施設配置の調査・研究への協力
- b 県や盛岡広域スポーツコミッションとのスポーツ施設情報の共有



スポーツパルは、スポーツに親しみスポーツを支える住民のネットワークをつくり、地域の住民がスポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進することを目的とする取組です。

スポーツパル会員（登録無料）は、スポーツ施設の利用やボランティア活動への参加によってポイントを貯めることができ、ポイントに応じて希望のグッズと交換できるほか、メールマガジンでスポーツ情報の配信を受けることができます。

皆さんも登録してみませんか？



詳しくは
スポーツパル
ウェブサイトへ

参考：盛岡市スポーツ推進計画アクションプラン（概要）

平成31年3月に施行された「盛岡市スポーツを通じた健康づくりの推進に関する条例」を受けて、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる盛岡のまちづくりの実現に向け、令和3年12月に「盛岡市スポーツ推進計画アクションプラン」を策定しました。このアクションプランでは、ウォーキング、散歩、階段使用など、目的をもって楽しく体を動かすこともスポーツと捉え、気軽に健康づくりに取り組むことができるよう、様々な関係機関と協力して事業を企画することとしました。

1 背景と趣旨

盛岡市スポーツ推進計画に定めている施策について、より効果的・重点的に取り組む必要があるとともに、「盛岡市スポーツを通じた健康づくりの推進に関する条例」の基本政策に沿った取組を推進することが求められている。このことから、スポーツ関係団体及び市役所関係課が連携し、盛岡市スポーツ推進計画の基本的施策である「ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進」に特化したアクションプランを策定し、更なる取組を進めるもの。

2 「スポーツ」の捉え方

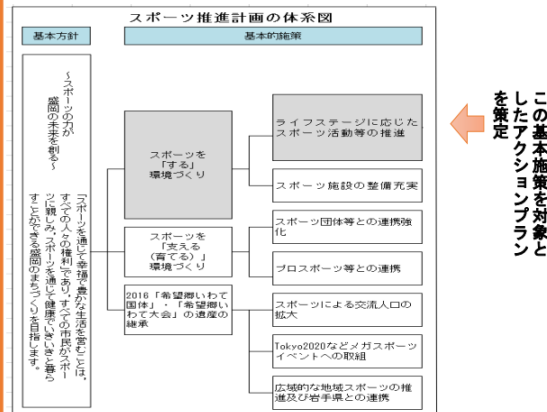
「スポーツ」とは「競技スポーツ」だけでなく、日常の中で楽しみや自身の健康づくりのために行う「身体活動」も含め、ウォーキング、散歩、階段使用など、目的をもって楽しく体を動かすこともスポーツであると捉える。

3 策定の目的

盛岡市スポーツ推進計画の基本方針実現のため、日常の中で楽しみや自身の健康づくりのために行う「身体活動」を積極的に推し進めることを目的に策定するものであり、条例第3条に定める基本政策「生涯にわたるスポーツ活動による健康長寿社会の形成」及び「地域におけるスポーツ活動による世代間の交流及び地域の活性化の推進」の実現を図るもの。

4 アクションプランの位置づけ

スポーツ推進計画における「スポーツを「する」環境づくり」の「ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進」に重点を置き、市として健康づくりに戦略的に取り組む具体策として位置付ける。



5 アクションプランの期間及び成果指標と評価

(1) 期間

スポーツ推進計画の最終年度と合わせ令和3～4年度の2年間とする。

(2) 成果指標と評価

成果指標は、スポーツ推進計画に現在設定されている数値を目指していくこととし、位置づけられた事業及び内容はスポーツ推進審議会で進捗状況を点検・評価し、令和5年度以降の次期スポーツ推進計画に引き継ぐことも想定するもの。

6 ライフステージに応じたアクションプラン（具体的取組）

抜粋

重点事業の取組方針

「ウォーキング」を核とした健康づくり施策の推進

達成目標

週1回以上ウォーキングしている市民(成人)の割合60% (R4年度末)

具体的な取組①

＜健康づくり推進アプリによる運動習慣の定着推進＞
[ウォーキングマップ等を取り込んだ健康づくり推進アプリの構築]
・ マップ機能を活用したウォーキングの推奨
・ 健康教室、スポーツ教室、健康診断への参加促進
・ 毎日の体重・血圧記録等、日常からの健康づくり意識の向上
⇒ 健康ポイントの付与により、運動習慣の定着を図る。

具体的な取組②

＜ウォーキングマップのグレードアップ化による利用促進＞
・ スポーツ、観光、商業施設等の情報追記

具体的な取組③

・ 元気はなまる筋力アップ教室等、既存の介護予防教室の内容の充実
・ 総合型地域スポーツクラブ、プロスポーツチーム等による健康づくり教室の実施

主要な事業の取組方針

各ライフステージに応じたスポーツを通じた健康づくり施策の推進

具体的な取組(抜粋)

- ・ プロスポーツチームのダンサーによる体育授業の実施・運動の楽しさ体験イベントの実施 【子どもたちの健康づくり】
- ・ 健康づくりに取り組む企業、団体、町内会等を表彰する制度の創設 【働く世代の健康づくり】
- ・ 医療機関受診時や健康診断時等に合わせた、健康づくり施策やフレイル等のキーワードの周知 【高齢者の健康づくり】
- ・ 小学校での障がい者スポーツの指導 【障がい者の健康づくり】
- ・ 健康教室+スポーツイベント等、多分野を掲載したパンフレット作成 【情報共有による健康づくり】

【アクションプラン関係課】

実施主体課 スポーツ推進課・障がい福祉課・長寿社会課・健康福祉課・健康増進課・学校教育課・生涯学習課
協力課 広聴広報課・観光課・経済企画課・農政課 **連携先** スポーツ団体・町内会・企業・教育医療機関等